平成２５年５月８日

各　　位

会社名　　サ　コ　ス　株　式　会　社
代表者の
役職氏名　　代表取締役社長　　瀬尾　伸一
（コード番号：９６４１　　ＪＡＳＤＡＱ）
問合せ先　　取締役本社部門管掌　石川　　忠
電話番号　　０３－３４４２－３９００

平成２５年９月期第２四半期（累計）業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成２４年１１月１５日に公表いたしました平成２５年９月期（平成２４年１０月１日～平成２５年９月３０日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

なお、通期業績予想につきましては、現在策定中であり、平成２５年５月１５日に予定しております第２四半期決算発表時にお知らせいたします。

記

１．平成２５年９月期第２四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成 24 年 10 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売　上　高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期純利益	１株当たり四半期純利益
前回発表予想（A）	６，７６７	３１５	３０１	１６１	３円６８銭
今回修正予想（B）	７，２４１	５６７	５７３	３３４	７円６４銭
増減額（B－A）	４７４	２５２	２７１	１７３	－
増 減 率	７．０％	８０．２％	９０．２％	１０７．７％	－
(ご参考)前期第２四半期実績 平成 24 年 9 月期第 2 四半期	６，５６６	３３２	３２９	１７１	３円９２銭

２．平成２５年９月期第２四半期（累計）個別業績予想数値の修正（平成 24 年 10 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売　上　高	経 常 利 益	四半期純利益	１株当たり四半期純利益
前回発表予想（A）	６，５２５	３００	１６０	３円６５銭
今回修正予想（B）	７，００６	５８２	３４１	７円７９銭
増減額（B－A）	４８１	２８２	１８１	－
増 減 率	７．４％	９４．１％	１１３．３％	－
(ご参考)前期第２四半期実績 平成 24 年 9 月期第 2 四半期	６，３１６	３３７	１７６	４円０１銭

（注）業績予想における「１株当たり四半期純利益」については、平成２４年１２月２１日開催の定時株主総会において、２株を１株とする株式併合の議案が承認・可決されており、効力発生日を平成２５年４月１日と定めていることから、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算定しております。

３．修正の理由

(1) 個別

当第２四半期におけるわが国経済は、年末に発足した新政権への期待感から為替が円安に振れ、株価も大幅に上昇いたしました。それにより、減少が続いていた輸出が下げ止まり、マインドの改善による個人消費の堅調な推移に牽引され、景気の持ち直しが見られました。

当社及び連結子会社が関連する建設業界におきましては、民間企業の設備投資が出遅れているものの、首都圏の建築工事では住宅関連工事が引き続き拡大を続け、土木工事では首都高速道路、横浜環状北線、圏央道、外環道等の道路工事が活況を呈しております。鉄道工事では私鉄各社の連続立体化工事が活発に推移しており、ＪＲ東日本による東北縦貫線や大型ターミナル駅改良工事も進められております。首都直下型地震対策としての駅舎工事等、安全対策工事も本格的に始まりました。関西地区では阪神高速道路大和川線や京都第二外環状線の工事がピークとなり、大型の建築工事も追い込みとなりました。今後は新名神高速道路が主要工事となります。

このような状況において、当社は全社を挙げての営業活動により、大型プロジェクト工事及び建築工事を中心に既存現場の受注拡大と新規現場の受注を進め、ゼネコンを主体に取引の拡大をいたしました。新たに投入をした環境関連オリジナル商品である、充電式ハンディ型ＬＥＤライト「ミニ静Ｌｉｇｈｔ」も各方面で大変好評をいただいております。

その結果、売上高で前回予測を481百万円（7.4%）上回る見込みとなりました。売上高の増加にもかかわらず、販売費及び一般管理費を当初計画以下に抑えることができたことにより、利益面においては、経常利益が282百万円（94.1%）前回予想を上回る見込みとなりました。四半期純利益においても181百万円（113.3%）前回予想を上回る見込みです。

(2) 連結

主に個別業績予想の修正に伴うものであります。

※予想指標は現時点で入手可能な情報に基づき予測したものであり、リスクや不確定要素が含まれており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。従いまして、当社グループを取り巻く経済情勢、市場動向、競合状況等により実際の業績が記載の金額の予想数値と大幅に異なる可能性がありますので、ご承知おき下さい。

以上